＜令和８年度 新規＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体	株式会社安藤			
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
	○	○	○	○
取組名称	環境経営（EA21）と現場DXの融合による 次世代建設イノベーション			
取組の区分・状況	新規			
取組開始時期	令和５年度から			
前回からの変更・進展	高性能ノートPCの追加導入、タブレット端末（iPad）の導入、webカメラの導入			
現在の取組内容	【取り組み内容】 ①エコアクション21の認証取得・継続運用による環境経営の実践。 →毎年の環境目標に基づき、全社および施工現場における省エネルギー活動、廃棄物の削減・リサイクル、節水などを徹底しています。また、燃費効率の良い重機・車両への更新を計画的に進めています。 ②3Dレーザースキャナーを活用した高精度測量と、kintone（キントーン）による社内・現場間のリアルタイム情報共有。 →測量業務に最新のデジタル技術を導入し、現場の3次元データを早期に取得・活用しています。また、kintoneを用いて日報、現場写真、進捗状況、安全管理情報をクラウド上で一元管理し、どこからでもアクセスできる環境を構築しています。 ③エコアクション21の活動とも連動し、現場周辺の環境保全に努めています。施工時には、周辺生態系への影響を最小限に抑えるため、適切な濁水処理の徹底や外来種の持ち込み防止、廃棄物の適正処理による土壌・水質汚染の防止を徹底しています。			
経　費	300,000～400,000円			
効果・成果	①電力や燃料の使用量を可視化することで、施工段階におけるCO2排出量の確実な削減を達成。全社員の環境意識が向上し、現場での無駄なアイドリングストップなど草の根の脱炭素活動が定着しています。 ②従来の手法に比べ、測量・現場管理にかかる時間を大幅に短縮（省力化）しました。kintoneによる情報共有の迅速化により、手戻りの防止や、内勤・現場間の移動コスト削減を実現。建設業の「2024年問題（時間外労働規制）」に対応する生産性向上と、働き方改革に直結しています。 ③地域環境への負荷を低減し、自然資本の損失を食い止める（ネイチャーポジティブ）取り組みを現場単位で実効性高く継続しています。			
課　題	kintoneや3D技術を一部の担当者だけでなく、現場代理人から熟練技術者、協力会社まで誰もが当たり前に使いこなせるよう、社内全体のデジタルリテラシー底上げと教育。			

今後の 予定・展開	自社内だけでなく、下請企業や資材納品業者も含めた「スコープ3（他社から供給された資材や輸送時の排出）」に踏み込んだ温室効果ガスの抑制を目指します。 また、3Dレーザースキャナーで取得した高精度な3次元点群データを、設計・施工・維持管理の全プロセス（BIM/CIMモデル）へスムーズに連携・統合していくための社内体制を構築します。
備考・コメント	これらの取組みに活用できる補助金・助成金制度の情報提供をお願いします。

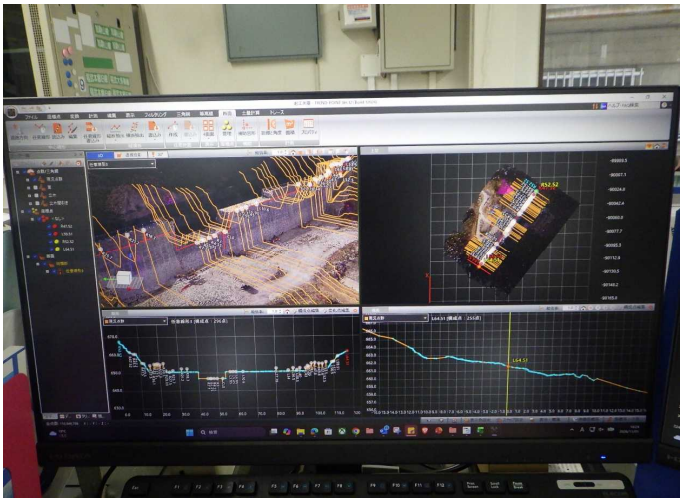
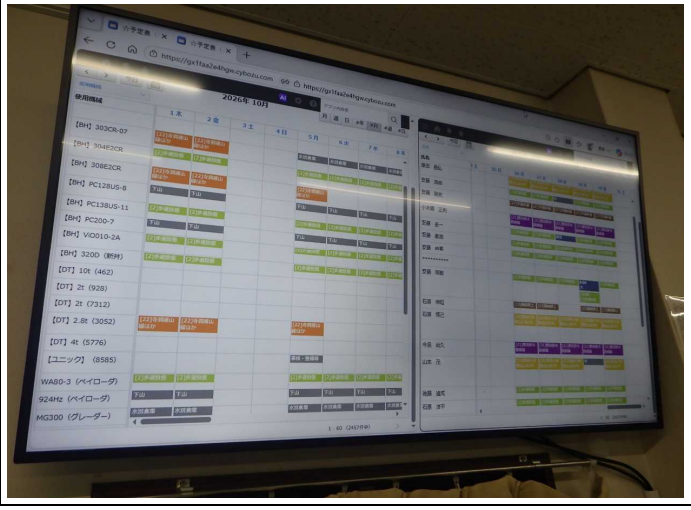
写真1	①エコアクション21の取り組み 
写真2	②3次元設計データの活用 
写真3	③kintoneを活用したリアルタイム情報共有 

写真4	④webカメラによる作業状況の確認 